

小規模校と大規模校の 英語活動

AEEN (Asahikawa English Education Network)

清 水 忠 明

(旭川市立近文小学校)

小規模校 基本データ

学 校

東川町立東川第三小学校

学級数

3学級(H18.3)

児童数

10名

英語活動
1学級人数

6名(3～6年合同)

英語活動
年間指導計画

- ・20時間(3～6年)
- ・ソフトカリキュラム
- ・国際理解教育、児童のニーズに対応
- ・担任, ALT, JTEで指導
- ・ALT, JTEは全時間TT可能

大規模校 基本データ

学 校

旭川市立近文小学校

学級数

16学級(H19.4)

児童数

485名

英語活動
1学級人数

28名(6年 現在担任)

英語活動
年間指導計画

- ・5時間
- ・ソフトカリキュラム？
- ・担任が児童の実態、ニーズに合わせて計画、国際理解教育の20時間と合わせて弾力的に運用可
- ・担任、ALTで指導
- ・ALT要請は年度当初に予定が空いている期日に希望、後に調整

英語活動の経過

小規模校 編

英語活動というよりALTを活用した時間を年間数時間もつ(H15.4)

社会教育・ALTとの関わり

留学生・研修生の来校

児童のニーズ

教師の願い

- ・3～6年生の総合的な学習の時間に英語活動を実施 (年間10時間)(H16.8～)
(年間20時間)(H17.4～)
- ・担任(JTE～アドバイザー)がプランを立て担任・JTE・ALTの4名でTTを組み指導

英語活動の経過

大規模校 編

英語に親しもう 3・4年 各6時間 5・6年 各5時間
国際理解 各学年 19～20時間

児童のニーズ

今後クリアすべき問題点

目指す子どもの姿 ねらい
カリキュラム ALT・ボランティア

教師の願い

共通理解 指導方法 推進者
研修体制 教材教具

- ・担任が中心となり進める活動(ALT、英語ボランティアの積極的な活用)
- ・国際理解教育の時間と合わせた弾力的な指導計画の作成

英語活動の実践 PART 1

小規模校編

- ・ JICA研修生との交流、学芸会 劇発表、
外国の方との交流 と リンクさせた英語活動
(資料1)
- ・ 3～6年生による少人数英語活動の時間
(資料2 & VTR)
- ・ JICA研修生との交流とリンクさせた英語活動
(資料3 & VTR)

英語活動の実践 PART 2

大規模校編

- ・5年生による少人数英語活動の時間
(資料4 ~ 昨年度実践)
- ・6年生では・・・

終わりに～(自分の今後の課題)

- 英語活動に対する積極的な議論
- 授業(英語活動)交流(学年 ブロック 全体)
- 児童のニーズにあった学習計画の作成
(何のために)
- アクティビティの開発(目的に合わせたアクティビティ～人数・学年なども考慮して)
- できることから、やってみる！

たくさんのご意見をお聞かせください。

